

MONITOR CAMERA DEVICE

Publication number: JP11242523

Publication date: 1999-09-07

Inventor: IKEGAYA TAKESHI

Applicant: STAR MFG CO

Classification:

- **international:** H04N5/225; G05D3/12; H04N5/232; H04N7/18;
H04N5/225; G05D3/12; H04N5/232; H04N7/18; (IPC1-
7); G05D3/12; H04N5/225; H04N5/232; H04N7/18

- **European:**

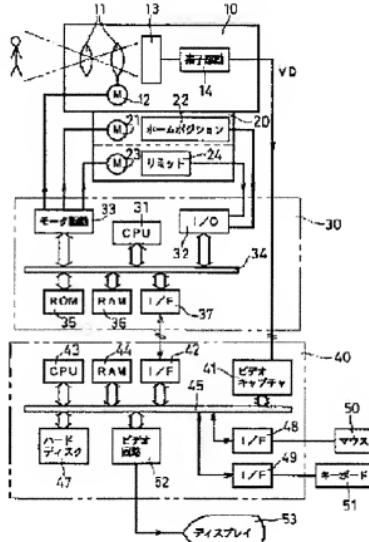
Application number: JP19980042273 19980224

Priority number(s): JP19980042273 19980224

Report a data error here

Abstract of JP11242523

PROBLEM TO BE SOLVED: To clearly identify the preset direction of a monitor camera to prevent the wrong operations and also to reduce the load on a monitor by selecting one of plural preset images which are previously photographed in a prescribed direction and shown on a display screen. **SOLUTION:** A monitor controls the attitude of an image pickup camera 10 while monitoring the live image of a monitor window on a display 53 and then performs a preset operation via a preset window after a desired image pickup direction is decided. A camera controller 30 acquires an identification code corresponding to a selected preset point icon from a hard disk device 47, takes the control positions 12, 21 and 23 corresponding to each identification code out of a RAM 36 and drives every motor to end the movement of the camera 10. Under such conditions, both preset and live images of the icon are simultaneously displayed on the monitor window. Then these two images are compared with each other, so that a monitor can easily decide the difference between a preset state and the current state and then can easily sense the abnormality.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Family list

1 family member for: **JP11242523**

Derived from 1 application

[Back to JP11242523](#)

1 MONITOR CAMERA DEVICE

Inventor: IKEGAYA TAKESHI

Applicant: STAR MFG CO

EC:

IPC: H04N5/225; G05D3/12; H04N5/232 (+9)

Publication info: **JP11242523 A** - 1999-09-07

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-242523

(43)公開日 平成11年(1999)9月7日

(51)Int.Cl.⁶G 0 5 D 3/12
H 0 4 N 5/225
5/232
7/18

識別記号

F I

G 0 5 D 3/12
H 0 4 N 5/225
5/232
7/18K
C
B
E

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全10頁)

(21)出願番号

特願平10-42273

(22)出願日

平成10年(1998)2月24日

(71)出願人

スター精密株式会社
静岡県静岡市中吉田20番10号

(72)発明者

池ヶ谷 武史
静岡県静岡市中吉田20番10号 スター精密
株式会社内

(74)代理人

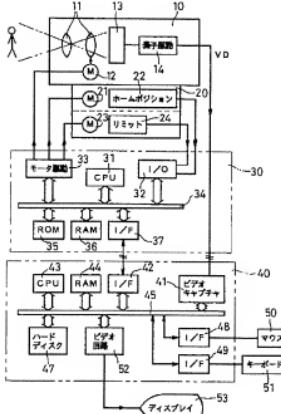
弁理士 西敷 圭一郎

(54)【発明の名称】 監視カメラ装置

(57)【要約】

【課題】 監視カメラのプリセット方向を明瞭に識別でき、監視者の誤操作や負担を格段に軽減できる監視カメラ装置を提供する。

【解決手段】 プリセットポイントを設定する場合、コントロールウインドウWDのボタンD 1～D 8、E 1、E 2をクリックして、カメラコントローラ30の各モータ12、21、23を駆動し、撮像カメラ10の撮像方向を決定する。その後、プリセットウインドウWCのプリセット設定ボタンB 1をクリックすると、モニタウインドウWBに表示しているライブ画像の縮小画像、識別コードおよび名称をハードディスク装置47に保存とともに、プリセットウインドウWCにアイコン表示する。次にプリセット移動操作を行う場合、プリセットポイントアイコンC 1～C 6をクリック選択すると、アイコンに対応する識別コードをカメラコントローラ30に基づいて各モータ12、21、23を駆動し、撮像カメラ10を移動する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 被写体の撮像信号を出力する撮像カメラと、
撮像カメラの撮像方向を制御するためのカメラ姿勢制御機構と、
カメラ姿勢制御機構に撮像方向を指示するための中央制御装置とを備えた監視カメラ装置において、
中央制御装置は、撮像カメラからの撮像信号を画像データとして取り込んだビデオ入力回路と、
ビデオ入力回路で取り込んだ画像データを格納するためのビデオ回路と、
ビデオ回路に格納された画像データを表示するためのディスプレイ装置と、
ディスプレイ装置の画面上の位置を指示するためのポインティング装置と、
ポインティング装置からの指示位置に応答し、所定のプログラムに従ってデータ処理を行うデータ処理装置と、
所定の撮像方向で撮像したプリセット画像を記憶するためのデータ記憶装置とを備え、
ディスプレイ装置の画面上に、撮像カメラが現在撮像しているライブ画像を表示するモニタ画像領域とデータ記憶装置に記憶された複数のプリセット画像を表示するプリセット画像領域とを形成した状態で、ポインティング装置を用いてプリセット画像を選択することによって、選択されたプリセット画像に対する撮像方向に撮像カメラの姿勢を制御することを特徴とする監視カメラ装置。

【請求項2】 ディスプレイ装置の画面上に、撮像カメラの操作方向を複数表示する操作画像領域を形成し、ポインティング装置を用いて操作画像領域の中の操作方向を選択することによって、撮像カメラの姿勢を制御することを特徴とする請求項1記載の監視カメラ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、撮像カメラの撮像方向を遮断的に制御して監視を行う監視カメラ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図6は、監視カメラ装置の使用様態の一例を示す斜視図である。監視カメラ1は、天井等の高所に取り付けられ、監視カメラ1の撮像方向が遠隔的に制御可能な支持機構が設けられている。監視カメラ1が設置された部屋とは別に用意された監視ルーム2には中央制御装置3が設置され、中央制御装置3には監視カメラ1が撮像した画像を表示するビデオモニタや監視カメラ1の姿勢を制御する操作レバー等が組み込まれている。監視者は、ジョイスティック等の操作レバーを操作しながら所望の撮像方向に監視カメラ1を向けて、部屋の様子を監視する。

【0003】こうした監視カメラ1の撮像方向は、水平

面と平行な回転方向を制御するパン操作と、鉛直方向の傾斜を制御するチルト操作との組み合わせによって制御され、必要に応じて画角の拡大縮小を行うズーム操作が追加される。

【0004】簡易な監視カメラ装置では、監視者が操作レバーを定期的または不定期に操作する必要があるため、長時間の監視が続くと疲労が多大になり、しかも監視領域に漏れが生じやすい。

【0005】そこで、監視カメラ1の撮像方向を予め設定するためのボタンをいくつか用意しておいて、プリセットボタンの選択によって所定の撮像方向を選択するようにしたプリセット機構が設けられる。図6では、たとえば長椅子付近や正面入口付近、開きドア付近などを撮像する方向がプリセットされており、監視者はボタン操作によって監視を行うことが可能になる。また、ボタン操作の代わりにプログラム可能なコントローラで操作することによって、撮像方向を決まった順番で制御することも可能である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の監視カメラ装置では、プリセット方向を番号や名称で識別していたため、プリセット方向が多くなったり、中央制御装置3が管理する監視カメラの数が増えてくると、監視場所との対応付けが混乱するようになる。たとえば、図6において第1ポイントが長椅子付近、第2ポイントが正面入口付近、第3ポイントが開きドア付近、第Nポイントが後ろ入り口付近に対応付けているが、番号だけでは監視場所を即座に思い浮かべることができず、名称にもしても3つの入り口付近同士で混亂する可能性が高い。

【0007】本発明の目的は、監視カメラのプリセット方向を明瞭に識別でき、監視者の誤操作や負担を格段に軽減できる監視カメラ装置を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、被写体の撮像信号を出力する撮像カメラと、撮像カメラの撮像方向を制御するためのカメラ姿勢制御機構と、カメラ姿勢制御機構に撮像方向を指示するための中央制御装置とを備えた監視カメラ装置において、中央制御装置は、撮像カメラからの撮像信号を画像データとして取り込んだビデオ入力回路と、ビデオ入力回路で取り込んだ画像データを格納するためのビデオ回路と、ビデオ回路に格納された画像データを表示するためのディスプレイ装置と、ディスプレイ装置の画面上の位置を指示するためのポインティング装置と、ポインティング装置からの指示位置に応答し、所定のプログラムに従ってデータ処理を行うデータ処理装置と、所定の撮像方向で撮像したプリセット画像を記憶するためのデータ記憶装置とを備え、ディスプレイ装置の画面上に、撮像カメラが現在撮像しているライブ画像を表示するモニタ画像領域とデータ記憶装

置に記憶された複数のプリセット画像を表示するプリセット画像領域とを形成した状態で、ポインティング装置を用いてプリセット画像を選択することによって、選択されたプリセット画像に対応する撮像方向に撮像カメラの姿勢を制御することを特徴とする監視カメラ装置である。

【00009】本発明に従えば、所定の撮像方向で撮像したプリセット画像を予め記憶しておいて、ディスプレイ装置の画面上に複数のプリセット画像を表示し、ポインティング装置を用いてプリセット画像を選択することによって、プリセット方向の選択を視覚的に行えるため、監視者の誤操作や負担を格段に軽減できる。

【0010】また、こうしたプリセット画像は、撮像カメラで撮像した画像データをそのまま表示してもよいが、多数のプリセット画像を同時に表示するためにデータの間引きによる縮小画像として表示することが好ましい。

【0011】また、プリセット画像に対応したプリセットデータは、カメラ姿勢制御機構のメモリや中央制御装置のデータ記憶装置等に記憶することができ、プリセット画像の選択によって、使用すべきプリセットデータを選択的に取り出すことができる。

【0012】また、プリセット画像とライブ画像が同時に表示されるため、選択されたプリセット画像とライブ画像を比較することによりプリセット時の状態と現在の状態の差が一目でわかり監視者が簡単に異常を察知できる。

【0013】また本発明は、ディスプレイ装置の画面上に、撮像カメラの操作方向を複数表示する操作画像領域を形成し、ポインティング装置を用いて操作画像領域の中の操作方向を選択することによって、撮像カメラの撮像方向を制御することを特徴とする。

【0014】本発明に従えば、従来の操作レバーと同等な機能を画面上の操作画像領域およびポインティング装置で実現できるため、操作レバーの省略による部品点数の低減化、低コスト化が図られる。しかも、主画像領域およびプリセット画像領域と同じ画面上で操作できるようになるため、監視者の視点の動きを軽減でき、監視操作が生じ難くなる。

【0015】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の実施の一形態のハードウエア構成を示すブロック図である。撮像カメラ10は、被写体からの光を結像するレンズ系11と、像を電気信号に変換する固体撮像素子(たとえばCCDセンサ)13と、固体撮像素子13を駆動して被写体の撮像信号VDを出力する素子駆動回路14となどで構成される。レンズ系11には、ピント調整を行うオートフォーカス機能や絞り倍率を調整するズーム機能等が搭載され、図1ではズーム機能用のズームモータ12を例示している。

【0016】撮像カメラ10は、撮像方向を制御するためのカメラステージ20に搭載される。カメラステージ20は、水平面と平行な回転角を制御するパンモータ21と、パン操作の基準位置を検出するホームポジションセンサー22と、鉛直方向に沿った傾斜角を制御するチルトモータ23と、チルト操作の上限角および下限角を検出するリミットセンサー24などで構成される。

【0017】カメラコントローラ30は、所定のプログラムに従って全体の動作を制御するCPU(中央処理装置)31と、プログラムやデータを記憶するROM(リードオンリーメモリ)35およびRAM(ランダムアクセスメモリ)36と、カメラステージ20からのセンサ出力を取り込むための入出力回路(I/O)32と、ズームモータ12、パンモータ21およびチルトモータ23を駆動するためのモータ駆動回路33と、中央制御装置40との間でデータ通信を行うインターフェイス回路(1/F)37と、各回路同士を接続するバス34などで構成される。撮像カメラ10からの撮像信号VDは、カメラコントローラ30を経由して、そのまま中央制御装置40へ伝送される。

【0018】中央制御装置40は、たとえばGUI(グラフィカルユーザインターフェイス)機能を搭載したパーソナルコンピュータ等で構成可能であり、撮像信号VDをデジタル信号に変換して画像データとして取り込むためのビデオキャプチャ回路41と、カメラコントローラ30との間でデータ通信を行いうインターフェイス回路42と、所定のプログラムに従って全体の動作を制御するCPU43と、プログラムやデータを記憶するRAM44と、プログラムやデータを大量に記憶するためのハードディスク装置47と、表示データを格納してディスプレイ装置53にビデオ信号を出力するビデオ回路52と、マウス50やキーボード51からの指示信号を取り込むためのインターフェイス回路48、49などで構成される。

【0019】マウス50は、ボールの回転量によってディスプレイ装置53の画面に表示されたカーソルの位置を制御したり、ボタンクリックによって画面上の2次元位置を指示するためのポインティング装置として機能する。キーボード51は、文字、記号、数字等のデータを入力するためのデータ入力装置として機能するが、画面上のウインドウ状態を制御したり、画面上の2次元位置を指示するためのポインティング装置としても機能せることができる。また、マウス50やキーボード51の他に、トラックボールやジョイスティック、タッチスクリーン等もポインティング装置として使用できる。

【0020】ディスプレイ装置53は、CRT(陰極線管)や液晶表示パネル、プラズマ表示パネルなどで構成される。

【0021】ハードディスク装置47は、所定の撮像方向で撮像したプリセット画像を予め記憶しており、CP

U43はカメラ制御プログラムに従って、プリセット画像の取り出し、追加、修正、削除等を実行する。プリセットポイントに対応した各モータ12、21、23の回転角を規定するプリセットデータは、カメラコントローラ30のROM35やRAM36に記憶させてもよく、あるいは中央制御装置40のハードディスク装置47、RAM44等に記憶させてもよい。CPU43はプリセット画像が選択されると、プリセットポイントの識別コードまたはプリセットデータ自体をマニピュレータ30に送信することによって、最終的に、撮像カメラ10の撮像方向が制御される。

【0022】以下の説明では、カメラコントローラ30にプリセットデータを格納しておいて、中央制御装置40がプリセットポイントの識別コードで指示を出す構成例を示す。

【0023】図2は、ディスプレイ装置53の画面表示の一例を示す説明図である。こうしたマルチウインドウ表示は、GUI機能を持つOS（オペレーションシステム）によって実現可能であり、ここでは親ウインドウWDの中に3つの子ウインドウWB、WC、WDが表示された例を示している。

【0024】親ウインドウWAは、中央制御装置40に搭載されたカメラ制御プログラムの起動によって形成され、メニューバーの中をクリックすることによってフルダウンメニューが表示され、各種コマンドを指示することができる。

【0025】ウインドウWBは、ビデオキャプチャ回路41から入力された画像データを表示するためのモニタウインドウであり、撮像カメラ10が現在撮影したライブ画像をそのまま表示して、この画像が監視対象となる。

【0026】ウインドウWCは、プリセットデータやプリセット画像の選択や編集を行うためのプリセットウインドウであり、プリセットを開始するプリセット設定ボタンB1や所定のプリセットポイントに対応した複数のプリセットポイントアイコンC1～C6が表示されている。

【0027】ウインドウWDは、従来のジョイスティックと同等な機能を持つコントロールウインドウであり、ボタンD1～D8をクリックすることによって所望の撮像方向へ撮像カメラ10を向けることができる。また、ボタンE1、E2をクリックすることによって、撮像カメラ10のズーム比を調整できる。

【0028】マウスカーソルFは、マウス50等のポイントティング装置によって画面上を移動することができ、各ウインドウWA～WDの中の所望位置でクリックすることによって、クリック位置に対応したコマンドを中央制御装置40に指示することができる。

【0029】図3および図4は、プリセットポイントを設定する動作を示すフローチャートである。ここでは、

コントロールウインドウWDの左上隅を座標原点(0,0)、右下隅を座標(Xn, Yn)、マウスカーソルFの座標(X, Y)としている。

【0030】まずステップa1において、監視者がコントロールウインドウWDの上にマウスカーソルFを移動し、ステップa2でマウスポンタをクリック（押下）すると、ステップa3でカメラ制御プログラムがマウスカーソルFの座標(X, Y)を取得する。

【0031】次にステップa4において、ボタンD8がクリックされたか否かをマウスカーソルFの座標(X, Y)が座標(0,0)と座標(Xm/3, Ym/3)との間の矩形領域にあるか否かによって判定し、この矩形領域でクリックされればステップa5において、中央制御装置40は、撮像カメラ10の撮像方向が現在方向から左上斜め方向となるように、パンフレットコマンドとチルトアップコマンドをカメラコントローラ30に送信する。

【0032】以下同様に、ステップa6、a7でボタンD1のクリックを検出すると、チルトアップコマンドを送信する。ステップa8、a9でボタンD2のクリックを検出すると、パンライトコマンドとチルトアップコマンドを送信する。ステップa10、a11でボタンD7のクリックを検出すると、パンフレットコマンドを送信する。ステップa12、a13でボタンD3のクリックを検出すると、パンライトコマンドを送信する。ステップa14、a15でボタンD6のクリックを検出すると、パンフレットコマンドとチルトダウンコマンドを送信する。ステップa16、a17でボタンD5のクリックを検出すると、チルトダウンコマンドを送信する。ステップa18、a19でボタンD4のクリックを検出すると、パンライトコマンドとチルトダウンコマンドを送信する。また、ボタンE1、E2についても、クリックの有無を判定することによって、ズームインコマンドやズームアウトコマンドを送信できる。こうしてマウスのクリック位置と画面上のボタンD1～D8、E1、E2との対応を判定している。

【0033】次に図4のステップb1において、カメラコントローラ30は中央制御装置40から送信されたコマンドに合致するように、ズームモータ12、パンモータ21およびチルトモータ23を駆動する。ステップb2では監視者がマウスボタンを離したことを検出し、ステップb3で全てのモータ12、21、23を停止する停止コマンドをカメラコントローラ30に送信する。

【0034】次にステップb4では撮像カメラ10が現在撮影している映像をモニタウインドウWBに表示し、ステップb5ではこの表示画像を確認しながらコントロールウインドウWDでのクリック操作を繰り返して、プリセットポイントとして記憶すべき位置に撮像カメラ10の移動を終了する。

【0035】次にステップb6で、プリセットウインドウWCのプリセット設定ボタンB1がクリックされる

と、カメラコントローラ30に設定されているプリセットポイント数を調査して、ROM35やRAM36の容量制限によって、プリセット可能な最大ポイント数に達していれば、ステップb 1 6へ移行して、「プリセット不可」を示すエラーメッセージを画面に表示して、ステップb 1 7でプリセットポイント設定を中断して強制終了する。なお、別のルーチンによってカメラコントローラ30に設定されたプリセットデータの削除、修正等が可能である。

【0036】一方、カメラコントローラ30のプリセットポイント数に余裕があれば、ステップb 8で新規プリセットポイントの識別（ID）コードを他のポイントと重複しないように決定し、ステップb 9で新規プリセットポイントの名称を入力し、プリセットポイントの識別コードおよび名称などを関連付けてハードディスク装置47に保存する。次のステップb 1 0でカメラコントローラ30に識別コードを含むプリセットポイント設定コマンドを送信する。カメラコントローラ30では、現在の撮像方向に対応したズームモータ1 2、パンモータ2 1およびチルトモータ2 3の制御位置と識別コードとを関連付けてRAM36に格納する。こうしたプリセット動作が正常終了すれば、カメラコントローラ30は中央制御装置40に設定完了コマンドを送信する。

【0037】ステップb 1 1では、中央制御装置40が設定完了コマンドを受信したか否かを判定し、一定時間経過後も受信しなければカメラコントローラ30にエラー発生と判断して、ステップb 1 6、b 1 7へ移行して強制終了する。カメラコントローラ30での設定が正常終了すると、ステップb 1 2へ移行して、モニタウインドウWBに表示しているライブ画像をたとえばビットマップデータ形式でハードディスク装置47に一旦保存し、さらにステップb 1 3でビットマップデータをデータ圧縮等の手法を用いて、たとえば6 4×8ドットの画像に縮小し、ステップb 1 4では縮小画像データを識別コードおよび名称などを関連付けてハードディスク装置47に保存する。ステップb 1 5でハードディスク装置47に保存した縮小画像データをアリセットウインドウWCに追加表示し、ステップb 9で入力したプリセットポイントの名称も縮小画像に近接して表示する。

【0038】こうして監視者は、モニタウインドウWBのライブ画像を監視しながら、コントロールウインドウWDで撮像カメラ1 0の姿勢を操作し、所望の撮像方向に定まるとアリセットウインドウWCでアリセット操作を行なう。

【0039】図5は、アリセットポイント操作の動作を示すフローチャートである。まずステップs 1において、アリセットウインドウWC上にマウスカーソルFを移動して、ステップs 2でマウスボタンがクリックされると、ステップs 3でクリックされた時のマウスカーソルFの座標(X,Y)を取得する。

【0040】ステップs 4でマウスカーソルFの座標(X,Y)がアリセットポイントアイコンC 1～C 6のどれに対応しているかを判定し、該当するアイコンがなければステップs 1に戻る。該当するアイコンC 1～C 6が存在すれば、ステップs 5でクリックによって選択されたアリセットポイントアイコン、たとえばフロア-AのアイコンC 1に対応する識別コードをハードディスク装置47から取得し、ステップs 6でカメラコントローラ30に識別コードを含むアリセットポイント移動コマンドを送信する。カメラコントローラ30では、アリセットポイント移動コマンドからアリセットポイントの識別コードを取得して、識別コードに対応した各モータ1 2、2 1、2 3の制御位置をRAM36から取り出して、各モータ1 2、2 1、2 3を駆動する。こうしたアリセットによる移動が正常終了すれば、カメラコントローラ30は中央制御装置40に移動完了コマンドを送信する。

【0041】ステップs 7では、中央制御装置40が移動完了コマンドを受信したか否かを判定し、一定時間経過後も受信しなければカメラコントローラ30にエラー発生と判断して、ステップs 1 1、s 1 2へ移行して「アリセット移動不可」を示すエラーメッセージを画面に表示して、強制終了する。

【0042】一方、カメラコントローラ30からの移動完了コマンドを受信すると、ステップs 8で撮像カメラ1 0が選択されたアリセットポイント、たとえばフロア-Aの撮像方向に移動が完了したことになり、次にステップs 9でモニタウインドウWBにフロア-Aのライブ画像を表示する。

【0043】その後、監視者はモニタウインドウWBに表示すべきライブ画像をアリセットウインドウWCでのクリック操作によって切替えながら、監視を続行し、必要に応じてコントロールウインドウWDで撮像カメラ1 0の姿勢を調整する操作も行うことになる。

【0044】このとき、モニタウインドウWBにはアイコンC 1～C 6のアリセット画像とライブ画像が同時に表示されているため、たとえばアイコンC 1を選択した場合、アイコンC 1のアリセット画像とライブ画像を比較することによりアリセット時の状態と現在の状態の差が一目でわかり監視者が簡単に異常を察知できる。また、プログラムにより自動的に切換え動作を行なった場合にも、自動選択されたアリセットポイントのアイコン等に選択中である目印（たとえば、アイコンの枠を太くするなど）を付けておけば、監視するアリセットポイントが順次変化してもアリセット画像とライブ画像を比較することによりアリセット時の状態と現在の状態の差が一目でわかり、監視者が簡単に異常を察知できる。

【0045】

【発明の効果】以上詳説したように本発明によれば、所定の撮像方向で撮像したアリセット画像を予め記憶して

において、ディスプレイ装置の画面上に複数のプリセット画像を表示し、ポインティング装置を用いてプリセット画像を選択することによって、プリセット方向の選択を視覚的に行えるため、監視者の誤操作や誤扱を格段に軽減できる。

【0046】また、従来の操作レバーと同等な機能を画面上の操作画像領域およびポインティング装置で実現できるため、操作レバーの省略による部品点数の低減化、低コスト化が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図2】ディスプレイ装置53の画面表示の一例を示す説明図である。

【図3】プリセットポイントを設定する動作を示すフローチャートである。

【図4】プリセットポイントを設定する動作を示すフローチャートである。

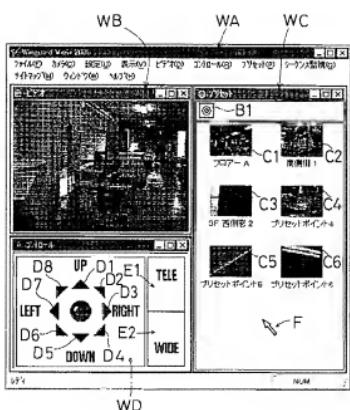
【図5】プリセットポイント操作の動作を示すフローチャートである。

【図6】監視カメラ装置の使用態様の一例を示す斜視図である。

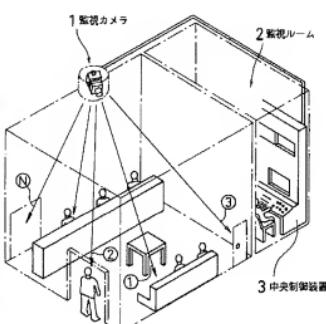
【符号の説明】

- 10 撮像カメラ
- 11 レンズ系
- 12 ズームモータ
- 13 固体撮像素子
- 20 カメラステージ
- 21 パンモータ
- 23 チルトモータ
- 30 カメラコントローラ
- 33 モータ駆動回路
- 40 中央制御装置
- 41 ビデオキャプチャ回路
- 50 マウス
- 51 キーボード
- 52 ビデオ回路
- 53 ディスプレイ装置
- WA 親ウインドウ
- WB モニタウインドウ
- WC プリセットウインドウ
- WD コントロールウインドウ
- B1 プリセット設定ボタン
- C1～C6 プリセットポイントアイコン
- D1～D8、E1～E4、F ボタン

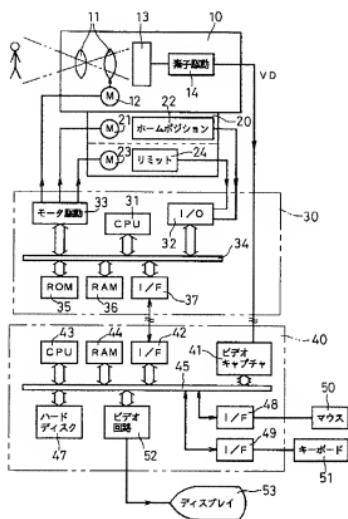
【図2】



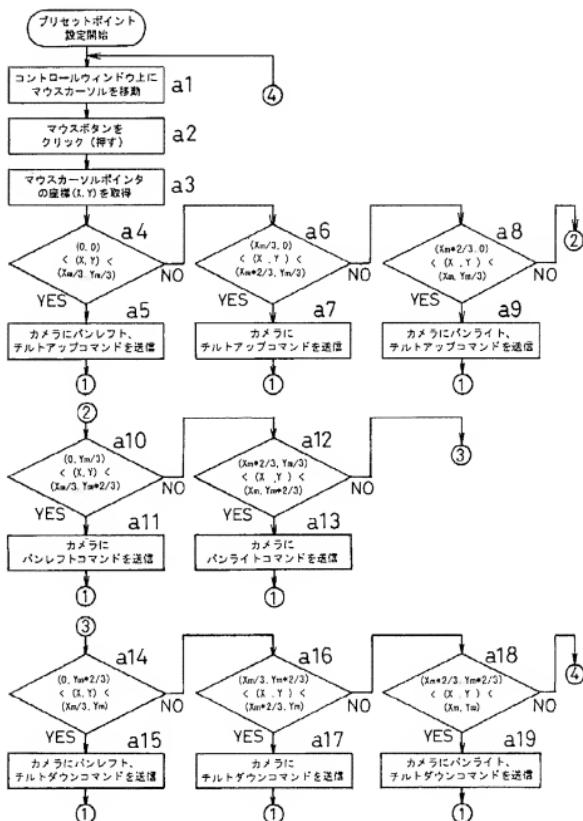
【図6】



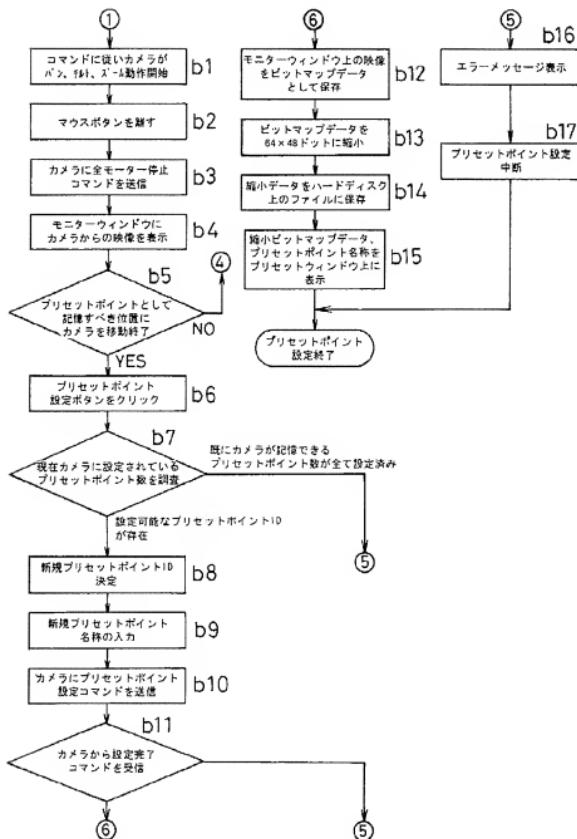
【図1】



【図3】



【図4】



【図5】

